

目次	編集方針	会社概要	トップメッセージ	方針・マネジメント	カーボンニュートラル	サーキュラーエコノミー	ウォーターニュートラル	生物多様性	化学物質管理	サプライチェーン	エンゲージメント	データ集・第三者検証
----	------	------	----------	-----------	------------	-------------	-------------	-------	--------	----------	----------	------------

エンゲージメント

参加しているイニシアチブ

TCFDに賛同

2021年10月にTCFDの提言への賛同を表明しました。シナリオ分析では、炭素税・物理リスク・農作物需要を含めた気象関連リスクと機会について評価を行い、評価結果を基に各種施策を推進しています。



[PDF TCFD 提言への取り組み](#)

RE100イニシアチブへの加盟

大塚ホールディングスは、事業の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアチブRE100に賛同し、2022年4月に加盟しました。



気候変動イニシアチブへの賛同

大塚ホールディングスは「気候変動イニシアチブ(Japan Climate Initiative)」の宣言、「脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加する」に賛同し、さまざまな活動に参加しています。



「Science Based Targets (SBT)* イニシアチブ」の認定を取得

大塚製薬、大鵬薬品は、温室効果ガス削減目標について、SBTイニシアチブから認定を取得しました。

この新たな目標の達成に向けてエネルギー利用の最適化や再生可能エネルギーの導入などを実施し、引き続きバリューチェーン全体での温室効果ガス削減を推進していきます。



* UNGC、世界資源研究所(WRI)、世界自然保護基金(WWF)による国際的なイニシアチブ。パリ協定が目指す世界の平均気温上昇を「2℃未満に抑える」の達成に向け、科学的根拠に基づく削減シナリオと整合した企業のCO₂排出削減目標を認定

外部評価

CDP気候変動において最高評価の「Aリスト」に選定

大塚ホールディングスは、気候変動に関する調査「CDP気候変動2022」において、最高位のAリスト企業に選定されました。



ESG投資インデックスへの組み入れ状況



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



S&P/JPX Carbon Efficient Index

地域社会とのコミュニケーション

インドネシアでの官民学共同の取り組み サステナビリティプログラム「OTSUKA BLUE PLANET」

インドネシアのPTアメルタインダ大塚では、2022年9月に工場周辺自治体や住民を対象としたサステナビリティプログラム「OTSUKA BLUE PLANET」に関する協定を環境林業省と締結し、下記の3つを推進しています。

- 1 エコビレッジプロジェクト: ゴミ処理・廃棄物管理を行うことができるコミュニティづくりの支援
- 2 エコブルースクールプロジェクト: リサイクル資源分別の習慣化と継続的なプラスチック廃棄物管理を実施する学校コミュニティ育成
- 3 エコボトルプロジェクト: リサイクルPET樹脂を利用したポカリスエットPETボトルの製造販売*
ゴミをゴミ箱に捨てる習慣が定着しておらず、廃棄物の処理・管理の仕組みが整っていない地域では、環境問題が深刻になっています。本プログラムを通じて、地域の人々とともにインドネシアの環境保全に努め、政府や自治体とも連携しながら取り組んでいきます。

* リサイクルPET樹脂30%使用

ジャカルタでの
ゴミ分別啓発セ
ミナーの様子



ステークホルダーとの関わり

大塚グループは、さまざまなステークホルダーとの信頼関係の構築を目指し、環境に配慮した取り組みを進めています。

[WEB ステークホルダーエンゲージメント](#)